

—いのち、くらし、平和が大事！—

日本共産党京都市議会議員

山本 陽子 活動ニュース

VOL.45 2019年4月21日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎ 595-8342



選挙へのご支援、ご協力ありがとうございました！

山本陽子
山本陽子
山本陽子

二期目、当選させていただきありがとうございました！ 引き続き市民の暮らし守り、 願い実現するためがんばります！

支 持者のみなさんのご支援や区民のみなさんの温かいご声援に支えられて、がんばり通すことができました。前回の得票を上回ってご支持いただき（4,815 → 5,286）、ありがとうございました。

今回の選挙では、消費税増税ストップ、高すぎる国民健康保険料の値下げという切実な要求掲げ、敬老乗車証制度の改悪ストップ、全員制の中学校給食実現、子どもの医療費中学校卒業まで無料化等、市政への願い実現のためがんばることを訴えぬきました。

オール与党市政の下、市長に対して、市民要求を代弁し最後まで奮闘する議席は日本共産党しかないなか、北山ただお市議を引き継いだ鈴木とよこ市議と共に力を合わせて公約実現位向けてがんばります。当選を果たせなかった本庄たかお府議の分まで奮闘し、次回選挙では府会議席を必ず取り戻す決意です。



自衛隊への宛名シールの提供が、投票日翌日に行われ、早くも若者に〈自衛官募集〉の封書が届いています。「受取り拒否」を明記してポスト投函で、返送することができます。

選 挙中に自衛隊への提供を行えば、提出を求めてきた自民党への批判が高まると、京都市はなんと投票日の翌日、18歳・22歳の2万6601人の個人情報を自衛隊に提供しました。安倍政権言いなり、市民の権利保護そっちのけの姿勢の表れです。自衛官募集の広報が自治体の法定受託事務にあったとしても、京都市がいう個人情報を提供できる根拠は、自衛隊法施行令120条の「資料の提供を求めることができる」との規定であるにすぎず、厳格な個人情報保護法の法令上の例外として抽象的であり、かつ施行令では根拠にはなりえません。福岡市や宇治市では根拠なく提供はできない、と拒否しています。

京都市議会では、副市長が南スーダンのような戦闘状態の地域に派兵される可能性が「ゼロではない」と言いながら、個人情報を提供するの、まさに戦場に赴く可能性のある自衛官募集事務の協力を行うもの。京都市は平和都市宣言を守り、宛名シールでの名簿提供はやめるべきです。

ヨココの
ママチャリ
子育て日記

選挙中の子どもたち



選挙は四年に一度です。

前回の選挙の時はまだ保育園児だった子どもたちも、いまでは小学生になり、とても頼もしくがんばってくれました。サポーターの方に、晩ご飯を食べさせていただいたり、お姉ちゃんは晩ご飯のあと、父も母もない時は、弟をお風呂に入れて、寝る準備をして待っていてくれました。家族を含めて皆様に支えていただき、勝ち取った勝利です。

選挙中の三月三十一日、娘は随心院のねず踊りの本番があり、がんばって練習もしていました。当日、私は見にいけなかったけれど、お友達のお母さんたちにもお世話になり、最後まで踊り通せたようです。

四月になり、ラグビースクールも始まり、姉弟で順調に参加。たくましく成長してくれている姿に感謝です。

